2011 年 5 月 6 日

各位

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城　裕一
コード番号：　4875　大証 Jasdaq
問合わせ先：　東京事務所代表　副社長
岡島　正恒
電話番号：　03-3519-5010
E-mail：　info@medicinova.com

米国における米国発行登録制度に基づいた新株発行枠設定および これに基づく新株発行に関するお知らせ

2011 年 5 月 6 日　米国　サンディエゴ発 - メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州　サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）は、2011 年 4 月 14 日（米国太平洋標準時間）に開催した取締役会において、2009 年 11 月 13 日(米国太平洋標準時間)に米国証券取引委員会より承認を受けた有価証券の募集についての発行登録に基づき、米国において機動的に新株発行を可能とする枠を設定し、これに基づき新株発行を行うことを決定いたしました。この決定に係る新株発行枠の設定および新株発行は、2011 年 5 月 6 日付で米国証券取引委員会に提出された発行登録追補書類に基づき、下記の内容で行われる予定ですので、お知らせいたします。当社は本発行枠に対する販売代理契約の内容を報告書（Form 8-K）として米国証券取引委員会（SEC）に提出します。また、当社英文ウェブサイト（http://www.medicinova.com/）でも閲覧可能となる予定です。

記

1. 有価証券の種類：	普通株式
2. 発行枠：	15 百万米ドル
3. 発行価格：	販売時点における NASDAQ グローバル市場での当社普通株式の市場価格、市場価格を基準とした価格、またはその他合法的な方法で決定した価格で発行。
4. 発行方法：	募集（日本における募集は行いません。）
5. 販売代理証券会社：	McNicoll, Lewis & Vlak LLC
6. 募集を行う地域：	米国
7. 募集可能期間：	2011 年 5 月 6 日（金）から発行枠に到達するまで
8. 払込期日(受渡期日)：	販売日＋3 営業日
9. 調達した資金の使途：	MN-221（喘息の急性発作および COPD 治療薬）を中心としたパイプラインの開発及び一般事業目的に使用予定。

以上

【注】

米国証券取引委員会より承認を受けた有価証券の募集についての発行登録に基づき、新株発行枠を設定し、新株発行の販売代理契約を証券会社と締結し、同証券会社が投資家からの株式購入ニーズに対し機動的に新規発行株式の販売対応を行う手法は At-The-Market(ATM) Offering と呼ばれ、米国企業が機動的に資金調達を行なうための一般的な手法です。

ご注意

この文書は、米国における新株式発行に関して一般に公表するためのプレスリリースであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。本件においては、日本の金融商品取引法上、日本国内における有価証券の公募または売出しのために必要とされる手続はとられておらず、日本国内市場における当社株式の公募または売出しは行われません。

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症をはじめとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利をはじめとして、当社が米国

証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。